

第4章

計画の基本的な考え方

I 基本目標

- 「第3次宇都宮地域情報化計画」については、国・県等のICTに関する政策の動向や「第2次宇都宮地域情報化計画」の評価などを十分踏まえるとともに、これまでの取組を発展させ、総合的かつ計画的に本市の地域情報化を推進するものとして策定します。
- 上記の考え方に基づき、第3章で総括した課題を解決し、本市の地域情報化を効果的に推進するため、次のとおり3つの基本目標を掲げ、これらの目標達成に向けて情報化施策を展開します。

基本目標Ⅰ 安全・安心でいきいきとした暮らしを送るための地域情報化の推進

- 市民や企業等が災害などから生命や財産の安全を守り、安心して日常生活や事業活動を営むことができるよう、「防災・災害」「保健・福祉」「環境」などの市民生活に身近でニーズの高い分野を中心に、電子行政サービスの充実強化を図ります。
- また、ICTを利活用することにより、より一層、地域社会における市民・各種団体や企業等の活動が活性化できるよう、情報化施策の推進を図ります。

基本目標Ⅱ 効率的で市民の視点に立った行政サービスの充実強化

- 国等においては、利用者の視点に立った電子行政サービスの恩恵を実感できる施策展開への転換を明らかにしており、これらのICT政策の動向を踏まえ、本市においても、費用対効果を踏まえながら、電子申請や電子納付などのニーズの高い分野における電子行政サービスの充実強化により、市民サービスの向上を図ります。
- 一方、本市においては、これまでも費用対効果を踏まえた電子行政サービスを展開してきましたが、情報システム数、システム経費が増大してきており、厳しい行財政環境を踏まえると、これらへの対応が急務であることから、情報システムの全体最適化をより一層推進するなど、行政運営の更なる効率化・高度化に向けた取組の充実強化を図ります。

基本目標Ⅲ 誰もが効果を実感できる地域情報化基盤の充実強化

- 本市においては、市民生活や企業等の活動を支える恵まれた情報通信基盤を有しておりますが、恒久的な難視対策が一部未完了である地上デジタル放送の視聴環境の整備などに的確に対応するとともに、進展するICTを安心して快適に活用できるよう、情報セキュリティの周知啓発や情報リテラシーの向上を図るなど、高齢者や障がい者を含めたすべての市民が効果を実感できるような地域情報化基盤の充実強化を図ります。

Ⅱ 目指すべき姿

目指すべき姿

ICTでつながり・支えあうまち「うつのみや」

- 「第3次宇都宮地域情報化計画」においては、上記を情報化が進展した宇都宮市が目指すべき姿として掲げ、地域情報化推進に向けた取組を積極的に進めていきます。

- ★ 上位計画である「第5次宇都宮市総合計画」が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ⁵²⁾」のネットワークの構築にICTの面から貢献するため、「つながり」という表現を盛り込みました。
- ★ また、本市の恵まれた情報通信基盤というネットワーク（つながり）をベースに、進展するICTの効果的な利活用により、災害・防災対策等の安全・安心や市民生活・地域産業などに関する有益な情報が活発に流通し、市民・企業等・行政が「支えあう」本市の将来の姿を表現しました。

※ 52) ネットワーク型コンパクトシティ

- ・土地利用の適正化と拠点化の促進により、都市のコンパクト化（集約化）を図るとともに、拠点間における機能連携・補完、他圏域との広域的連携のための軸を形成・強化するなど、「ネットワーク化」（連携）を促進した、宇都宮市の目指す都市の姿